

しもつけ☆女性活躍応援プロジェクト【下野市】

地域の実情と課題

平成26年の市民意識調査結果によると、職場における男女平等意識について、「昇進・昇格」において男性が優遇されていると感じている方の割合が約33%であった。そのため、企業経営者等の意識改革を図り、働きやすい職場環境の整備や、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組により女性の活躍を推進していく必要がある。

事業の特徴

○6月の映画会実施から、11月のイクボス宣言時に向けて、ガイドブックの配布やセミナー開催等、一連の流れで啓発を行うことにより、市内の女性の活躍推進に向けた機運醸成を図った。

事業の効果

目標値に「とちぎ女性活躍応援団」、「栃木県仕事と家庭の両立応援宣言」の登録企業数を設定し、企業の女性活躍推進に対する意識・関心の指標とした。登録企業数は増加し、市内の女性活躍の機運醸成を図ることができた。

- ・とちぎ女性活躍応援団登録企業数 2社（H29.1）→12社
- ・栃木県仕事と家庭の両立応援宣言登録企業数 12社（H29.1）→13社

目的・目標

企業経営者等に対し、職場環境の整備や長時間労働の削減等「働き方改革」について周知啓発し、女性の活躍推進に欠かせないワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識改革を行う。

【平成29年度 目標値】

- ・イクボス宣言事業所数 4社（実績:4社）
- ・とちぎ女性活躍応援団登録企業数 12社（実績:12社）

連携団体

【連携体制】

- ・下野市女性活躍推進協議会
- ・しもつけイクボス応援団
下野市、石橋地区消防組合消防本部、下野市商工会、石橋商工会
- ・小山定住自立圏形成協定自治体
下野市、小山市、野木町、茨城県結城市

今後の課題

市内企業を対象としたアンケート調査結果によると、70%以上の企業が「長時間労働の見直し」や「子育て等の両立支援」等ワーク・ライフ・バランスを推進している状況であった。対して、50%の企業が「女性のキャリアアップ」や「管理職の意識改革」について取り組んでいないと回答しており、直接的な女性の活躍にむけた取組が遅れているといえるため、より一層普及啓発に取り組む必要がある。

事業の概要

平成28年12月に男女共同参画都市宣言を行ったことを踏まえ、女性が活躍できる社会づくりについて推進していく「しもつけ☆女性活躍応援プロジェクト」。本プロジェクトでは、主に企業経営者等に対し、女性の活躍推進に欠かせないワーク・ライフ・バランスの実現に向けた意識改革を行いました。

市民向け

6/24

ジョカツのつどいinしもつけ

プチセミナー

誰もが働きやすい
社会って？

映画上映

六月燈の
三姉妹



映画という入りやすい切り口から女性活躍の重要性を広く周知した。映画を「女性活躍」という視点から鑑賞していただくために、上映前に、女性活躍に関する取組についてセミナーを実施した。

企業向け

9/28

女性活躍応援ガイドブック

企業向け
ガイドブック
を作成し、
人事労務
担当者等に
女性活躍や
ワーク・ライフ・
バランスの
重要性に
ついて意識改革を図った。



9/28

女性活躍推進セミナー

講師

東 浩司

NPO法人

ファザリング

ジャパン理事



企業経営者や人事労務担当者等を対象にワーク・ライフ・バランスやイクボスをテーマにセミナーを実施し、女性活躍及び働き方改革に対しての機運醸成を図った。

11/5 イクボス合同宣言

つどいやセミナーにおいて、醸成してきた女性活躍やワーク・ライフ・バランス推進の機運を踏まえ、官民合同で宣言することにより、改めてイクボス養成のPRを行った。

